



市民活動表彰 第40回ムトス飯田賞

ムトス飯田推進委員会（会長 飯田市長 佐藤 健）は、このたび第40回ムトス飯田賞を決定しました。市民の皆さんへ自薦他薦による募集を行い、応募8件について、慎重に審議いたしました。この賞は、自ら意欲的に地域づくりを行い、また継続性・波及性があり、他者と共に協働して活動する団体へ、毎年贈られています。

受賞団体

地域と人を繋げる竹林整備・竹資源活用

NPO法人
いなだに竹Links

放置竹林における不法投棄を課題と捉え、地区住民と対話をしながら連携し、竹林の整備作業に尽力されています。地域・学生・企業が思いを共有し、楽しみをもって取り組めるよう働きかけ、他団体の竹林整備の支援・指導、また小中学生の環境保全学習など、次世代育成にもあたっています。竹を地域資源「竹業」と捉え、里山経済の仕組みづくりにも着手されています。その「ムトス性」「波及性」や協働の広がりが評価されました。

大人の笑顔は子どもの笑顔、子どもの笑顔は飯田市の希望 日本の子育ては傾奇組から!!

南信州
有志保育士連合
傾奇組

人口減少における保育の今後について、組織内の勉強会を重ねながら、その成果をイベントなどで地域に還元し、親子の笑顔を生み出しています。男性保育士のみなさんならではの気づきを活動に生かし、子育てのコツや男性の育児参加の促進、また保育や教育に関心ある高校生・大学生のボランティア募集や講習等も行っています。その「ムトス性」「継続性」や協働の広がりが評価されました。

● ムトス飯田賞とは ●

ひとりひとりの自発的な行動を表す言葉「ムトス（～せむとす）」の精神を広めるために、一市民の寄付がきっかけとなり、昭和60年に創設されました。受賞団体の活動が広く知られることにより、市民活動がより発展・波及していくころへの願いが込められています。



● 表彰の基準 ●

1. 「まさに…しようとする」という前向きな意志を持ち、意欲的な活動を継続して行っていること。
2. 他の団体や個人の活動に対して良好な影響を与え、波及性があること。
3. 地域社会への貢献が認められ、地域づくりに進んで参加するなど協働の精神が認められること。